

第4章 事業計画に反映した環境配慮の内容

現時点において事業計画に反映した、もしくは今後反映することを計画している環境配慮の内容は表 4.1.1 に示すとおりである。

表 4.1.1 (1) 事業計画に反映した環境配慮の内容

環境配慮項目及び環境配慮事項	選定の有無	環境配慮の内容 (選定しない場合はその理由)
1 周辺との調和		
1-1 周辺土地利用との調和		
地域の環境計画の方針・目標等との整合を図ること。	有	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、計画ヘリポートが環境基準の達成に与える影響を最小限に抑えることで、地域の環境計画の方針・目標等との整合に努める。
事業の規模・形状及び施設の配置・構造等の検討にあたっては、周辺地域の環境や土地利用との調和を図り、環境への影響の回避又は低減に努めること。	有	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、必要最小限の規模とすることにより計画ヘリポートが周辺の土地利用との調和に及ぼす影響を最小限に抑えることで、環境への影響の回避又は低減に努める。
事業計画地の下流域及び周辺地域において、地下水利用等がある場合は、これらの利水への影響の回避又は低減に努めること。	無	本事業は、地下水に影響を及ぼす行為を行わないことから、選定しない。
1-2 改変区域の位置・規模・形状の適正化		
土地の改変や樹林の伐採等を行う場合には、その改変区域の位置・規模・形状の選定にあたって環境への影響の回避又は低減に努めること。	無	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、土地の改変や樹林の伐採等を行わないため、選定しない。
事業計画地内での土工量バランスに配慮するよう努めること。	無	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、土工を伴わないため、選定しない。
2 循環		
2-1 資源循環		
循環資源のリユース・リサイクルに努めること。また、残土の有効利用に努めること。	有	施設の供用時・建設工事中共に廃棄物の発生はほとんどないと考えられ、残土も発生しないが、排出する廃棄物については可能な限りリユース・リサイクルに努める。

表 4.1.1 (2) 事業計画に反映した環境配慮の内容

環境配慮項目及び環境配慮事項	選定の 有無	環境配慮の内容 (選定しない場合はその理由)
2-2 水循環		
雨水の地下浸透システムの導入、保水機能に配慮した土地利用を図るなど、雨水の貯留浸透・地下水涵養能力の保全・回復に努めること。	無	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、雨水の地下浸透等を行なうことができないため、選定しない。
3 生活環境		
3-1 大気質、水質・底質、地下水、騒音、振動、低周波音、悪臭		
自動車交通による環境影響を低減するため、供用時における道路、鉄道等の交通網を考慮して、適切な交通アクセスを確保するよう努めること。	無	本事業の運用目的は自然災害時等の調査及び情報収集活動を主としており、これに伴う新たな交通はほとんど発生しないため、選定しない。
公共交通機関の利用促進、物流の効率化などにより、施設供用時に発生する自動車交通量の抑制に努めること。	無	本事業の運用目的は自然災害時等の調査及び情報収集活動を主としており、これに伴う新たな交通はほとんど発生しないため、選定しない。
施設の規模、配置及び構造の検討にあたっては、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、有害化学物質等による環境影響の回避又は低減に努めること。	有	航空機の運航に伴い、メインローターの回転やエンジンにより騒音、低周波音による影響が考えられるため、運用時間は原則として日出又は7時の遅い方から日没又は19時の早い方までとするほか、ヘリコプターの待機時間の短縮に努めるなど、周辺環境へ及ぼす影響を可能な限り低減するよう配慮する。
工事計画の策定にあたっては、周辺環境への影響の少ない工法の採用、低公害型機械の使用、散水の実施等により、大気汚染、騒音、振動、粉じん、濁水等による環境影響の回避又は低減に努めること。	有	本事業は工事の規模が小さく工事の期間も短い、重機等の稼働台数や資材搬入車両の台数を最小限に抑えることにより建設機械の稼働や工事関連車両が周辺環境に及ぼす影響を可能な限り低減するよう配慮する。
3-2 地盤沈下		
地下水位の低下や地盤の変形が生じないよう配慮するなど、地盤沈下の防止に努めること。	無	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、地盤沈下への影響はないため、選定しない。
3-3 土壌		
土壌汚染の発生及び拡散防止に努めること。	無	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、土壌汚染への影響はないため、選定しない。

表 4.1.1 (3) 事業計画に反映した環境配慮の内容

環境配慮項目及び環境配慮事項	選定の 有無	環境配慮の内容 (選定しない場合はその理由)
3-4 日照障害、電波障害		
建物・構造物の配置・形状の検討にあたっては、日照障害、電波障害に関する周辺環境への影響の回避又は低減に努めること。	無	航空機の運航に伴い電波の受信状況に影響を及ぼす可能性があるものの、ヘリコプターは固定翼機と比較して小さく、また、丸みを帯びた形状であることから反射波は拡散し弱くなり影響は少ないと考えられる。また、周辺の土地利用からみて長時間日陰の及ぶ範囲に住居等が存在しないこと、大阪第6地方合同庁舎（仮称）（アンテナを含めた高さ地上約100m）の建設に伴い、電波障害に関する必要な措置が講じられていることから、選定しない。
3-5 都市景観		
建物・構造物の配置・デザイン・色彩等については、周辺景観との調和や地域性に配慮した工夫を施すとともに、必要に応じて植栽等で修景することにより、良好な都市景観の形成に努めること。	有	本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、奇抜な色彩を避け周辺と調和するよう配慮する。
3-6 ヒートアイランド		
人工排熱の低減、放熱の抑制、緑化の推進、水の活用に努めるとともに、施設供用時における効果的な取組についても検討すること。	無	本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、ヒートアイランドへの影響は小さいものと考えられるため、選定しない。
一体的なオープンスペースを確保するなど海風の誘導に配慮すること。また、市街地での適度な通風の確保のために、細やかな風通しへの配慮に努めること。	無	本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、風通しへの影響は小さいものと考えられるため、選定しない。
4 自然環境		
4-1 地象、水象		
土地の改変にあたっては、事業計画地及びその周辺における地形、地質、土質、河川の水量・水位、海域の潮流・波浪への影響の回避又は低減に努めること。	無	本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、地象・水象への影響はないため、選定しない。
地下構造物の建設や地下水採取にあたっては、地下水脈への影響の回避又は低減に努めること。	無	本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、地下水への影響はないため、選定しない。

表 4.1.1 (4) 事業計画に反映した環境配慮の内容

環境配慮項目及び環境配慮事項	選定の有無	環境配慮の内容 (選定しない場合はその理由)
4-2 動物、植物、生態系		
<p>土地利用や施設配置の検討にあたっては、動物、植物の生息・生育環境への影響の回避又は低減に努めること。また、動植物の重要な生息・生育地をやむを得ず改変する場合には、改変地の修復、移植・代替生息地の確保など適切な措置を講じるよう努めること。</p>	無	<p>本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、動物、植物の生息・生育環境への影響は小さいと考えられるため、選定しない。</p>
<p>良好な緑地、水辺、藻場、干潟の保全に努めること。 緑地等の保全にあたっては、事業計画地周辺の良好な環境との連続性に配慮するとともに、まとまりのある面積の確保に努めること。また、緑地帯における植栽樹種の選定にあたっては、自然植生に配慮すること。</p>	無	<p>本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、緑地や水辺への影響はないため、選定しない。</p>
<p>土地利用や施設の検討にあたっては、生物多様性の拠点となるべき自然環境の整備に配慮し、普及啓発活動にも努めること。</p>	無	<p>本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、自然環境の整備は行われないため、選定しない。</p>
<p>工事による粉じん、騒音、振動、濁水等が動植物の生息・生育環境に及ぼす影響の低減に配慮した工事計画の策定に努めること。</p>	無	<p>本事業は工事の規模が小さく、工事の期間も短いため、工事による影響は軽微なものと考えられる。そのため選定しない。</p>
4-3 自然景観		
<p>人工物の位置、規模、形状等については、周辺景観との調和に配慮し、良好な自然環境の保全に努めること。</p>	有	<p>本事業は、大阪第6地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、奇抜な色彩を避け、周辺の自然景観への影響を最小限にとどめるよう配慮する。</p>
4-4 自然とのふれあい活動の場		
<p>緑地空間、親水空間等を保全するなど、自然とのふれあい活動への影響の回避又は低減に努めること。</p>	有	<p>航空機の運航に伴い、メインローターの回転やエンジンにより騒音、低周波音による影響が考えられるため、運用時間は原則として日出又は7時の遅い方から日没又は19時の早い方までとするなど、自然とのふれあい活動へ及ぼす影響を可能な限り低減するよう配慮する。</p>

表 4.1.1 (5) 事業計画に反映した環境配慮の内容

環境配慮項目及び環境配慮事項	選定の 有無	環境配慮の内容 (選定しない場合はその理由)
5 歴史的・文化的環境		
5-1 歴史的・文化的景観		
建物・構造物の配置・デザイン・色彩等については、周辺の伝統的景観との調和に配慮し、必要に応じて植栽等で修景することにより、歴史的・文化的景観の保全に努めること。	有	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、奇抜な色彩を避け、周辺の伝統的景観への影響を最小限にとどめるよう配慮する。
5-2 文化財		
土地の改変や建物・構造物の設置にあたっては、文化財の保全に努めること。	無	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、文化財への影響はないため、選定しない。
6 環境負荷		
6-1 温室効果ガス、オゾン層破壊物質		
省エネルギー型機器、コージェネレーションシステム、余熱利用、地域冷暖房の採用などエネルギーの効率的な利用や、太陽光など再生可能エネルギーの利用に努めること。また、温室効果ガス及びオゾン層破壊物質の排出抑制に努めること。	有	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、エネルギーの消費はわずかであるが、航空機（ヘリコプター）の運航に伴い消費する航空機燃料の削減のため、ヘリコプターの待機時間の短縮に努める。
地域やビルのエネルギー消費を一元的に管理すること等により、エネルギーの使用の合理化に努めること。	無	本事業は、大阪第6 地方合同庁舎（仮称）の屋上にヘリポートを設置するものであり、エネルギーの一元管理などエネルギー使用の合理化を行うことができないため、選定しない。
6-2 廃棄物、残土		
事業活動により生じる廃棄物の発生抑制とともに、長期使用が可能な資材の使用に努めること。また、残土の発生抑制に努めること。	有	本事業は、施設の供用時・建設工事中共に廃棄物の発生はほとんどないと考えられ、残土も発生しないが、発生する廃棄物を最小限に抑えることで、可能な限り発生量の抑制・減量に努める。